

平成 27 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	10	06	01	0404	スポーツ大会・合宿誘致推進事業費	
総合計画	分野	人づくり				
	政策	3-4	スポーツの振興			
	施策	3	大規模スポーツ大会の開催			
目的	スポーツ大会・合宿誘致に向けた支援を行う。					
対象	はなまきスポーツコンベンションビューロー、花巻市体育協会					
意図	交流人口の拡大を図り、スポーツに接する機会を提供する。					
事業概要	…上記目的を実現するための事業手法を記載すること					
<input type="checkbox"/> はなまきスポーツコンベンションビューロー負担金の支出 <input type="checkbox"/> スポーツ大会・合宿誘致推進事業補助金の交付						
市民参画の有無 []						
市民協働の形態		共催	<input type="checkbox"/> 実行委員会・協議会	事業協力・協定		
		後援・協賛	<input type="checkbox"/> 補助・助成	委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
① 全国規模のスポーツ大会誘致件数	件		計画	6	6	6
			実績	11	10	
② スポーツ合宿誘致件数	件		計画	6	6	6
			実績	5	4	
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
① 大規模スポーツ大会・イベントの入込者数	人		目標	184,000	197,000	275,000
			実績	182,935	217,806	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	<input type="checkbox"/>	目標値より高い	概ね目標値どおり	目標値より低い		

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)	
エージェント訪問や体育施設の見学説明会等を開いており、合宿の問い合わせが多くなってきている。 平成27年度も、引き続き大規模スポーツ大会の誘致に努めているほか、合宿の誘致活動などを積極的に行っている。 また、各競技協会から、全国に通じる方々の情報提供・協力を得て、人的ネットワークのプロジェクトを進めており、今後の大会や合宿誘致を進めている。 28年度は国体本大会を迎え、大規模大会の積極的な誘致は、厳しいが、29年度以降につなげるため、スポーツ合宿支援事業補助金交付要綱を制定し、合宿の誘致の促進を図る必要がある。	
目的妥当性	<input type="checkbox"/> 公共関与の妥当性 <input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない
有効性	<input type="checkbox"/> 成果の向上余地 <input type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない
効率性	<input type="checkbox"/> 事業費・人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="checkbox"/> どちらも削減余地がない
公平性	<input type="checkbox"/> 受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 適正である
総合評価 …上記評価結果の総括	
交流人口の拡大や地域経済への効果、競技力の向上を図るため、はなまきスポーツコンベンションビューローを設置し、インターネット等による情報発信や各種大会の誘致、開催支援を行った結果、大規模スポーツ大会・イベントの入込者数が18万人を超えるなど成果があった。全国大会の誘致については、2～3年以上前に決定されることがほとんどであり、エージェントとの情報共有や人的ネットワークをフルに活用し、国体以降のさらなる誘致が必要となるため、スポーツ合宿支援補助金を制定する。 平成27年度の開催支援実績（全国規模） ・日本リーグ等プロスポーツ興行（3種目、6回。バスケ、ハンド、野球） ・全日本大会（6大会。ハンドボール、ソフトボール、ビーチボール、アイスホッケー、サッカー） ・秋季本部大会（クレール射撃） ・合宿（3大学。ボート、アイスホッケー、バトミントン） ・国内キャンプ（サッカーエリートU-14） 平成28年の岩手国体開催を契機に、全国規模の大会の一層の誘致に努めていく。	

平成 27 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

担当部署 部名 生涯学習部 課名 スポーツ振興課 担当係長 菅 史 内線 293

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

(単位：千円)

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	06	01	0404	スポーツ大会・合宿誘致推進事業費

単位：千円

		26年度 決算額(A)	27年度 決算額(B)	28年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		6,499	6,099		△ 400
財 源 内 訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源	6,499	6,099		△ 400

事業期間	○	単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	-------	------	-----------------

部重点施策における目標
スポーツの振興を図ります。

事業開始の背景・経緯

全国的に「スポーツツーリズム」を推進しており、その先駆けとして、平成22年度（H23-3）に、はなまきスポーツコンベンションビューローを立ち上げ、交通条件やスポーツ施設の優位性を活かし、スポーツ大会や合宿等の誘致を行ってきた。

事業概要

- はなまきスポーツコンベンションビューロー負担金の支出
- スポーツ大会・合宿誘致推進事業補助金の交付

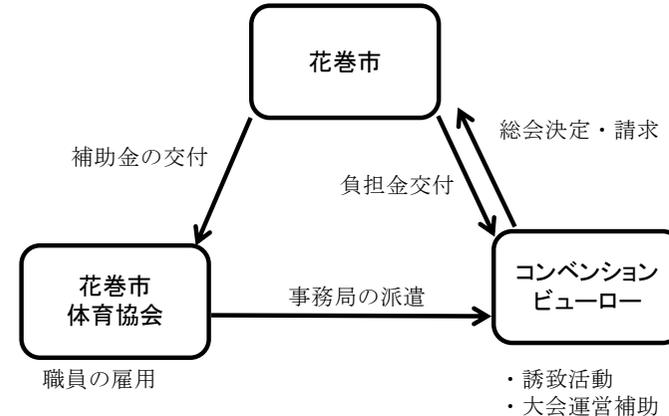
事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

スポーツ競技団体等から、関東圏の施設とのデメリットを補てんするため、合宿や大会を誘致・開催する場合の金銭補助制度、会場の減免、さらにはその参加申込受付等の人的運営の補助などについて制度化してほしいとの声がある。（大きなデメリットとしては、移動の交通費が多くかかることがあげられる。）

27年度は、国体リハーサル、28年度は、国体本番を迎え、大規模大会の積極的な誘致は、厳しいが、29年度以降につなげていく必要がある。

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

● はなまきスポーツコンベンションビューロー



○スポーツコンベンションビューロー負担金 1,900,000円

大規模なスポーツ大会やスポーツ合宿を誘致し、交流人口の拡大、スポーツに接する機会を提供する。

主な活動内容

- 情報発信：ホームページ、ブログの更新、スポーツ大会情報の提供等
- 誘致活動：旅行エージェント訪問、旅行エージェント、大学現地調査招待等
- 支援活動：スポーツ大会開催支援（宿泊、弁当の手配）、合宿支援（宿泊施設弁当業者の紹介等）

事業費 2,157,279円

報償費	423,245円	(旅行エージェント等来花記念品、合宿団体物産提供等)
旅費	890,080円	(旅行エージェント招待、首都圏誘致活動等)
需用費	266,751円	(印刷製本費、消耗品費等)
役務費	41,645円	(通信運搬費)
賃借料	75,478円	(招待者タクシー代)
委託料	460,080円	(HP管理、誘致大会歓迎看板等)
負担金	0円	(体育協会事務負担)

○スポーツ大会・合宿誘致推進事業補助金 4,199,000円

コンベンションビューロー事務局職員人件費（2名分）